



2021 年度第5回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2021 年 12 月 12 日(日)13:00~16:00

開催場所 静岡県栄養士会事務局

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 参加

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		勤労	
氏名	坪井	木下	新井	戸田	天野	宇津木	名波	篠原	三浦	森下	
出欠	○	○	○	○	○	○W	○W	○	○W	○W	
職域事業部	地域				医療				福祉		
氏名	若林	池谷	森平	袴田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田	杉山
出欠	○	○	○	○W	○W	○W	○W	○W	○	○W	○W
監事	関	梅木									
出欠	○W	×									

開 会 定刻に至ったため、木下副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち WEB 参加 12 名）に達しているため理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき、坪井会長がこれにあたる。

議事録作成者の選出

議長により、本理事会の議事録作成者に、地域活動事業部の若林理事、森平理事が指名された。

1 会長あいさつ

令和 3 年 12 月 7.8 日開催された東京栄養サミット 2021 を Web でご覧になったと思う。今日、日本の栄養士は世界の栄養士となるべきである。世界の貧しい国に物資を送る事は今までも先進国が種々やってきた、しかし、困っている国に支援食材を送っても食べつくしてしまえば終わってしまう。まだまだ世界は栄養と健康のテーマが必要である。

体験的にそのノウハウが一番持っているのが日本の栄養士であり、これからは食物を生み出す、作り出す、生産するノウハウを広める、その食材を効率よく摂取する方法（保健栄養・ジャパンニュートリション）を伝えることが大切である。これまで日本人が築いてきた健康寿命の延伸に役立つ栄養学を世界に発信できる。実際に発展途上国に 1~2 年行き、日本が体験し作り出したエビデンスを伝承する事が日本の栄養士の義務であり、これからの時代である。そのためにも、何より仲間を増やしていく事が大切。皆さん周囲の非会員（栄養士・管理栄養士）に声をかけてください。会員が大勢になれば大きな力となり公益的に貢献できる事業も多くなります。

先日、静岡市医師会での先生方との談話で、栄養士会は政治の世界（国会議員への会員の出馬）への進出を考えないのですかと問われた。日本栄養士会は栄養士連盟と表裏一体であり、栄養士会を支援くださる栄養士連盟の議員さんも多数いる。しかし、連盟会員も少なく、微力となっている。皆さんで自分の事として考え、知恵を絞っていきましょう。

2 前回議事録の確認

第4回理事会議事録の確認。

全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1) 坪井会長

10月 3日（日）	健康サポート薬局研修講師（県薬剤師会依頼）	浜松
10月 5日（火）	静岡市医師会合同研修会「日栄中村会長講演」	静岡市医師会会館
10月13日（水）	吉田町シニアレッヅ 講演	吉田町中央公民館
10月17日（日）	日栄DAT zoom会議	自宅
10月17日（日）	静栄三役 zoom会議	自宅
10月19日（火）	歯周病医療連携会議	県歯科医師会館
10月21日（木）	県8020 推進会議	県歯科医師会館
10月25日（月）	地域食文化保護会議「ぐるなび和食文化」	県庁別館
10月26日（火）	日栄組織財政委員会 zoom会議	静栄事務所
10月30・31日	日栄DAT zoom研修	自宅
11月 2日（火）	日栄組織財政委員会 zoom会議	自宅
11月 4日（木）	ふじ33健康歯科保健部会会議	県庁別館8階会議室
11月 6日（土）	日栄組織財政委員会 zoom会議	自宅
11月 7日（日）	県8020 推進大会web（司会）	浜松遠鉄ビル8階
11月 8日（月）	地域包括推進ネットワーク会議	葵ビル4階ブケ東海
11月10日（水）	静栄選挙管理委員会	静栄事務所
11月15日（月）	食品表示講習会打ち合わせ（電話）	自宅
11月24日（水）	臨時三役会議：Web	自宅
12月 2日（木）	ふじ33健康食育部会会議	シズエル602会議室
12月 6日（月）	認定栄養ケア・ステーション面接（6施設6人）	静栄事務所
12月 8日（水）	認定栄養ケア・ステーション面接	静栄事務所
12月 9日（木）	静岡市食育会議	静岡市役所4階
12月11日（土）	三役会議：Web	自宅

(2) 木下副会長

10月13日（水）	浜松市との連携事業打ち合わせ	浜松市健康増進課内
10月16日（土）	高齢者の食支援講座	クリエート浜松調理室
10月17日（日）	DAT 運営委員会：Web	自宅
10月17日（日）	臨時三役会議（ZOOM）	自宅

11月 3日 (水)	地区代表者会議 : Web	自宅
11月 4日 (木)	地区代表者会議 : Web	自宅
11月 6日 (土)	栄養ケア・ステーション会議 : Web	自宅
11月 24日 (水)	臨時三役会議 : Web	自宅
12月 5日 (日)	介護予防事業打ち合わせ	静栄事務所
12月 11日 (土)	三役会議:Web	自宅

(3) 新井副会長

10月 5日 (火)	静岡市医師会合同研修会	静岡市医師会館
10月 17日 (日)	静栄 DAT 運営委員会	ZOOM
10月 17日 (日)	臨時三役会議	ZOOM
11月 3日 (水)	地区代表者会議 1	ZOOM
11月 4日 (木)	地区代表者会議 2	ZOOM
11月 6日 (土)	栄養ケア・ステーション事業部会議	ZOOM
11月 24日 (水)	臨時三役会議	ZOOM
11月 28日 (日)	静岡県母性衛生学会役員会 (代理)	もくせい会館
11月 29日 (月)	日栄・各都道府県会長 WEB 会議	事務局・ZOOM
12月 11日 (土)	三役会議:Web	

4 報告事項

(1) 研修部 (渡邊美子理事)

1) 11月 7日 (日) 病態栄養研修会 (web)

参加 78名/内県外 4名 (申し込み 97名)

演題: 栄養ケアプロセスと PES 報告書の理解

講師: 日本栄養士会理事 甲南女子大学 医療栄養学科教授 木戸 康博先生

・申し込み多数でお断り発生している中、不参加 19名

2) 11月 14日 (日) 3事業部合同研修会 (ハイブリッド)

参加 104名/内県外 3名 (web75名/内県外 3名、会場 29名) (申し込み web 85名 会場 31名)

演題: 腎臓病の栄養指導のあり方

講師: 神奈川工科大学健康医療科学部 教授 菅野丈夫先生

- ・当日に会員からの問い合わせあり (「webの申し込みをしたが、メールが来ない」)
- ・当日、会場参加の予定だったが体調が悪いため web にしてほしいとの連絡あり
- ・講演中にコメントの書き込みがされた

3) 10月 16日 (土) 西部 研修会 (集合形式)

参加 16名 (申し込み 16名)

演題: 「高齢者の食支援」

講師: 管理栄養士 関 明子 氏

4) 11月27日(土) 中部「在宅経管栄養の実際」研修会 (集合形式)

参加 13名 (申し込み15名)

演題: 「在宅経管栄養の実際」在宅訪問栄養指導に必要なスキルアップ (経鼻胃管と胃瘻管理編)

講師: 静岡県立こども病院 栄養管理室 管理栄養士 鈴木 恭子 氏

・キャンセル待ちの方も数名いた中で、当日連絡なく欠席が2名

5) TNTG-D 研修会 (添付資料参照)

「TNT Geriatric for Dietitian (高齢者栄養療法) e ラーニング」は、従来、申込者リストの提出および問い合わせ対応等は、日本栄養士会を介して運用していたが、今後、都道府県栄養士会およびアボットジャパン合同会社 (以下、アボット社) との直接運用とする方法へ変更になった。2022年2~3月受講分 (2022年1月末締切) の申込より完全に変更、日本栄養士会への運用手数料の支払いは不要となる。

田森理事より追加報告事項。

12/11 (土) 栄養ケアマネジメントステップ00研修会③を開催。対面10名 Zoom32名にて開催。

(2) 地区事業部 (名波理事)

11月3日(水)及び4日(木)の2日に分けて、臨時地区代表者会議 (WEB) を開催した。

<主な内容>低予算の中、地区研修で何をすべきなのか。例えば各地区で同じテーマでの研修を行っているが、地区代表者会議でよく検討し、系統立てて企画していく必要がある。そのために、WEBでの地区代表者会議を増やしてはどうか。地区の研修は交流会中心でも良いのでは。限りある予算で効率的に研修会を開催するため近隣地区との合同開催も視野に入れては。等各地区の要望や現状、今後の地区研修会のあり方について意見交換を行った。

(3) 栄養ケア・ステーション部 (寺田理事)

・10/5 第5回静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会合同研修会 開催

参加者: 133名 (医師会 WEB 14名・会場 11名、栄養士会 WEB 84名・会場 24名)

・11/6 第1回栄養ケア・ステーション事業部会議 (WEB) を開催

現在の進捗状況、強化型CSの認定、来年度の予算等について協議した

・12/5 全国栄養ケアセンターリーダー研修会のライブ演習への参加報告。その中では栄養ケア・ステーション活用マニュアルについてと新しくできた機能強化型についての話があった。

新井副会長から追加

・既に配布資料にあるが今後の栄養ケア・ステーションの目指す方向と2ページ後のマニュアルが届いている。マニュアルのページが200~300ページあるので表紙と目次のみ配布した。利用する方は事務局で確認してほしい。

・会長より補足。全国の栄養士会のレベル統一の必要性もあり、数年前から栄養ケア・ステーションについてマニュアルの必要性を訴えてきた。各都道府県で会員数には差があるが、内容にも差がある。栄養ケア・ステーションがおぼつかない所もあるが、底上げする為にはマニュアルが必要。近隣の県を応援する必要もあるので、皆さんの協力を依頼したい。

(4) 学術部（戸田理事）

①栄養士大会会場の予約

男女共同参画センターあざれあ 4F 第一研修室 9:00-17:00（定員 88 名）手配済み

②中野ヤスコさん講演会の内容は確認中（富士見高校サッカー部の取り組みで良いのか）

・中野ヤスコ氏より連絡があり、演題「スポーツ食育の取組から考える地域連携と栄養士活躍の可能性」に決定。

(5) 静栄 DAT（渡邊潤理事）

第 18 回静栄 DAT 運営委員会の開催について

日 時 2021 年 10 月 17 日（日） 9:30~11:20

会 場 WEB 会議システム

○2021 年度静栄 DAT 育成・スキルアップ研修開催について

日時：2022 年 2 月 26 日（土）13:00~2022 年 2 月 27 日（日）16:15

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ

○静岡県との災害協定締結について

・東海北陸の数件の協定書を確認したが、県によって経費負担や、対応部署等に違いが見られたりするため、複数の県の内容を確認する必要がある。また、他県の協定を結ぶまでの経緯を確認するなど、協定締結までの道筋を整理する必要がある。

・今年度はコロナ対応により本務が滞っているため、来年度からの検討開始が現実的。来年度に向けて他県の情報収集を含め、準備を進めることとした。

○特殊栄養食品の備蓄について

・備蓄は必要であるため継続していくこととする。購入にあたっての予算等については後日改めて検討する。

○来年度の活動計画について

・基本的には今年度の活動を踏襲するが、運営委員会の回数や基礎研修の追加なども検討したい。また、会議、研修については WEB も交えながらなるべく節約して、かつ、中身の濃いものとしていく。

○次回開催日程

2022 年 2 月 26 日（土）9:30~ 栄養士会事務所または WEB

○その他

・12 月 7 日、8 日に東京栄養サミットの開催が決定し、日本栄養士会として開催するサブイベントの中で、JDA-DAT による防災啓発活動などが予定されている

(6) 地域活動事業部（若林理事）

東海北陸ブロック研修会の開催について、日本栄養士会主催で県栄が協力する形が望ましいという事で来年度の予算に上げて検討されたが認められず、日本栄養士会の主催で東海北陸ブロック研修会の開催はできないという返事があった。来年度の静岡県での開催はなしとなる。代わりに日本栄養士会主催の東海北陸ブロック会議の開催を申請中。

地域活動事業部運営委員会報告（11月14日開催）

新井副会長よりの課題について検討

①会員増について、

ライフステージに合わせ会費を考えることが必要だと思う

研修会費は有料とし会費を少しでも下げた方がよいのではと考える。

日栄会費を下げてもらいたい。10月以後の会費を半額に下げる。

入会金を下げる。初年度やシニア割引等もいいのではないかと。年齢層で会費を変える。

クレジットで分割払いができるようにする。

養成校卒業時や就職時に栄養士のメリットや入会の仕方を説明する。

いろいろなところで栄養士会をPRするためには栄養士活動のチラシがあると説明がしやすい。

②研修会について

現在多い月で5回位とありがたいが、中央と地区研修を合わせて月1~2回位でも良いのか。

研修会内容は中央と地区の棲み分けを整備していく必要がある。

Web開催やハイブリッド型は参加しやすい。

静栄で年ごとのテーマがあっても良い。

ネットワークを作る。Web交流会を行う。

③社会貢献について

電話相談を受け付ける。

④来年度のスキルアップ研修会について

スキルアップ研修会 受益者負担だが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実習がデモだけとなることで参加費が取れない場合もあるので未定。

（案）東・中・西部地区が来年度はまた新たな研修会を行うのでは無く、2021年度と同じ内容・講師で統一し、月をずらしつつ東・中・西部地区各地で開催することでどうか。

そうすることで県内全域の会員に共通理解が出来き、聞き逃し補修や学び直す機会が出来て良いと思う。今年度の講師に再度依頼し、来年度も開催場所を移動して実施する方向で計画。

⑤三事業部合同研修会について

主担当は事業部持ち回りで行う。講演内容や講師は各事業部が提案した中から決定する
来年度も同じ時期に開催予定。内容検討

(7)医療事業部（久保田理事）

- ・医療事業部理事会議 日時：10月27日（水）20:30~21:50 WEB開催 参加：理事4名

協議事項

・2022年度事業計画、次期役員選出の件について、医療運営委員会を開催し意見交換を行う。

- ・医療事業部理事・運営委員会 日時：11月7日（日）15:15~17:00 WEB開催

参加：理事4名、運営委員10名

協議事項

・2022年度事業計画：年2回研修開催とし、WEBと状況次第では集合形式で企画。テーマは嚥下・摂食障害、在宅、衛生関係、病態（がん、透析、糖尿病）多職種連携等の意見が出た。多くの参加（100名）を目指し魅力あるテーマ、講師選定を行う。

・研修会（1/16）栄養士大会（2/11）参加依頼。栄養士大会の演題募集に対し2病院承諾。

- ・日栄リーダー研修会報告：会員増対策に対する意見交換、食事療法学会等研修会参加招聘。

(8) 福祉事業部(田森理事)

- 9/25 (土) 栄養ケアマネジメントステップ00研修会① 2/19 (土) に延期
- 10/10 (日) 栄養ケアマネジメントステップ00研修会② 参加14名/24名
- 10/25 (木) 東海北陸リーダー会議参加 (ZOOM)

(9) 委託事業

- 1) 飲食店向け「健康な食事」推進事業 (生活衛生営業指導センター委託) (森平理事)
 - (東部) 富士宮支部 11月12日 富士宮商工会議所 14:00~16:00 12名参加
講師：近藤今子先生 (中部大学客員教授) 西原洋平氏 ((株) 西原グループ代表取締役社長)
 - (中部) 藤枝支部 10月27日 はれの季 小杉苑 14:00~16:00 10名参加
講師：近藤今子先生 (中部大学客員教授)、中野ヤスコ氏 (食の学び舎くるみ代表取締役)
- 2) 介護予防推進育成研修事業 (若林理事)
 - 現在栄養ケア・ステーションを通しての通いの場への紹介業務は1件。
依頼のない原因を探る為と来年度事業につなげるためアンケート調査を12月に実施する予定。
- 3) 元気を見つめる外食活用推進事業 (生活衛生営業指導センター委託) (若林理事)
 - 冊子の改定のための準備が終了した。営業指導センターと打ち合わせを行い。来年度の印刷部数を決定。校正を1月頃の予定。
令和3年度元気を見つめる外食活用推進事業高校生の講座
県内の高校 10か所
12月3日までに実施終了校 8か所終了
- 4) 富士宮市食文化推進プロジェクト事業 (若林理事)
 - 11月12日(金) 駅前交流センターきららにて「食文化と地産地消について考える講演会」開催
10時~11時30分 29名参加 地産地消の弁当配布
講師：静岡県立大学客員教授 新井映子先生
- 5) 食品表示適正化・活用普及事業 (池谷理事)
 - 県内3地区 (WEB1か所含む) 研修会終了

東部地区	11月9日	プラサヴェルデ	会場12名	WEB50名
中部地区	9月7日	WEB開催に変更	会場5名	WEB13名
西部地区	9月28日	ワークピア磐田	ハイブリッドに変更	会場6名WEB12名
- 6) 食べるから繋がる地域包括ケア推進事業 (池谷理事)
 - WEB講座 申込者 232名
地域での研修会 12月3日現在 申込数7か所 (うち政令市1か所)
講座終了 4か所

(10) 第1回選挙管理委員会報告 (事務局)

2021年11月10日 (水) 16:00~17:00 第1回選挙管理委員会開催

① 坪井会長より、選挙管理委員の任命

委員4名： 奈良和幸 (再任：医療)、大橋路代 (再任：地域)

清水洋子（再任：地域）、山内裕子（新任：福祉）

- ② 選挙管理委員長の選出：互選により、奈良和幸委員を委員長に選出
- ③ 選挙に係る日程及び業務の検討

【資料参照】

選挙のスケジュールの確認をおこなった。

各事業部の理事は、次の後任理事候補を出していただく。

選挙の投票ハガキを期日までに提出するよう、各事業部を通じて会員に伝えていただきたい。

(11) その他

・令和3年度第1回静岡県循環器病対策推進協議会

日時：8月17日（火）18:00～19:30 場所：グランディエールブクトーカイ4階
（オンラインにて開催） 参加：久保田

協議事項

- ・静岡県循環器病対策推進基本計画（案）について、「脳卒中部会」と「心血管疾患部会」を設置し6月に課題を協議、その内容の報告があった。委員より意見があり内容に盛り込む。
- ・静岡県保健医療計画の一部見直し作業にかかる今後のスケジュールとして、再度部会の意見を聴いた上で計画最終案と合わせて、次回協議会（11月16日）に協議する。

・令和3年度第2回静岡県循環器病対策推進協議会

日時：11月16日（火）18:00～19:00 場所：グランディエールブクトーカイ4階
（オンラインにて開催） 参加：久保田

協議事項

- ・静岡県循環器病対策推進基本計画（案）について。前回の委員からの意見を基に修正、承認。
- ・静岡県保健医療計画の見直しについて討議。1月にパブリックコメントを募集し3月に県民意見として提出する。
- ・今後心不全手帳を総合病院中心に配布。手帳活用について各職種に対して研修会を企画するので参加協力依頼あり。症例検討会の開催も計画。
- ・脳卒中手帳のようなものを作成したいという意見があり今後検討。

・静岡県特定検診・特定保健指導推進委員会

日時：11月17日（水）16:30～18:00 場所：もくせい会館 第2会議室 参加：久保田

協議事項、報告事項

- ・令和元年度の特保受診率・保健指導実施率共に増加したが、目標値には達していない。メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少率は低下。予備軍は増加傾向にある。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、受診率等の減少が懸念される。
- ・各保険者、地区から特保受診率・保健指導実施率向上の取組発表。賀茂地区では塩分摂取量が多いことから静岡社会健康医学大学院大学と提携して研究、10年間のコホート調査を開始したことを報告。

5 協議事項

(1)2022 年度事業報告、予算編成について（新井事業部長、木下総務部長）

- ・事業計画について（新井事業部長）
- ・予算編成について（木下総務部長）

予算取りまとめ（別紙参照）

事業計画について新井副会長より説明。予算申請書に基づき作成された。

- ・（公1）事業としては昨年度とほぼ変わらない。

予算金額：「介護予防推進指導者育成研修（静岡県健康増進課）」について

今年度増額であるが、これについては県からの委託事業である為昨年度の予算額を挙げている

（公2）についての事業は昨年度と変わらずの状態です

新事業については研究教育事業部の篠原理事より報告があります。

予算編成については木下副会長より説明。

提出された予算申請の中で（公1）事業の「栄養ケア・ステーション部」の予算について木下副会長から説明。昨年は9万円だけの予算。

- ・寺田理事は昨年3,0000で計上したが、静岡市医師会の合同の研修会であった為静岡市の参加者に限ると言う事で却下となった。
- ・講師料について：昨年たまたま中村会長を講師として呼んだため、県医師会、県栄養士の会員全体に聞いてもらいたいと言う事で、講師料が5万円かかっている。
- ・昨年は開催が静岡市に限ると言う事で講師料は計上していなかったが、来年度は5万円で計上されている。これについて協議をお願いしたい。
- ・栄養ケア・ステーションの賃金については、1月までの実情を東部・中部・西部で調査中である。（公2）の事業については昨年度とほぼ変わらない状態なので、このままで予算編成をしたい。

会長より

コロナの状況の中、予算執行が予定通りいかない状況。事業の執行は皆さんのおかげでよくできたのではないかと。予算については野中会計事務所に使いきれなかった予算の使い方のご指導を伺いながら、次年度への繰り越しを考えていく。

（収1）について、新井会長より報告

- ・これまでは特定健診のグッズの販売で収益を上げていたが、今後は収益増加、会員増加に繋がる取組を考えている。

○新規事業として、篠原理事から提案。

- ①栄養士の会員に対しては、本当に研修の内容が希望するものになっているのか懸念される。栄養士の会員に対し管理栄養士を目指していただく為に、国試対策講座の運用をしていく
 - ②研究教育事業部で検討中の新規事業の提案を篠原理事が行う。
会員数増加、収益増加の目的も含め、リカレント教育（学びなおし）の実施
- ・10コンテンツをWebにUP。視聴していただく。コンテンツの内容は未定。どんな内容を希望するかについては、メルマガでフォームを作りアンケートを来月実施予定。
 - ・一人1000円として100人が受講すると、10万円の収益に繋がると仮定。
- ※ 基礎知識について研修を受けたいと言うニーズがある為、その方々を対象とした動画配信

→コンテンツの作成は、最初はボランティアで携わり、収益が上がればその中で一部賃金を支払う。これについては研究教育事業部の会員だけでなく、専門性を活かし活躍している各事業部の理事にも講師になっていただき 90 分の講座を担当する。

栄養士のクラウドからアクセスして勉強、1年に1回コンテンツがたまれば、視聴者が増加する事に繋がる。・2000～3000 円に設定して 200 人集まれば、ある程度の収益に繋がる事が見込める。収益確保かつリカレント教育を提案したい。

会長より。会員、非会員の視聴調査等、研修部も一緒に検討してほしい。→渡邊理事より同意を得る。木下副会長から栄養ケア・ステーションについての予算について検討。

寺田理事から来年度は講師料を入れたが、だめなのか。静岡市の医師会と静岡県栄養士会と合同研修会となったので、今年度は講師料を出した。しかし基本的には市の医師会と県栄養士会がそれぞれコラボすることを考えていかななくてはいけない。しかしそれをまだ予算化していない。

→今後も静岡県栄養士会と静岡市医師会との共同開催となった場合でも、昨年同様に栄養ケア・ステーション部の予算としては講師謝金と講師旅費はなしとする。

- ・会議旅費・CS 会議・医師会との会議に計上された計 80,000 円は記載の通り承認。
- ・今後、栄養ケア・ステーションの動きが活発になれば、予算として計上する必要がある。現状では、支出のところで報告となる。
- ・賃金を 10 万円とし、全体の予算としては 18 万円で据え置き。栄養ケア・ステーションを活性化するための予算とする。

(2) 研修部 (渡邊美子理事)

アンケート結果については資料参照。

1) 2021 年度生涯教育実務研修(※月別予定一覧表参照)

- ・1月16日(日) 病態栄養研修会

13:30～15:00 (WEB)

演題: いま求められる病棟での管理栄養士の役割～当院のチーム医療と ICU での栄養管理～

講師: 社会医療法人近森会近森病院 臨床栄養部 宮島 功先生

→先行して HP アップ済み

- ・2月6日(日) 東部 「高齢者の食支援」研修会

13:00～15:00(ぬまづ健康福祉プラザ 2階視聴覚室)、 15:00～16:30 (ハイブリッド)

演題: 高齢者の食支援 編と 在宅でできる介護食

講師: (独) 地域医療機能推進機構 三島総合病院 杉山清子氏

→延期になっていたものであり資料を確認。

承認、12月の郵送に同封する

2) 2021 年度生涯教育 (単位認定等) 申請について

※資料参照

このところ殆ど単位認定の申請はないが、12月の通知時に例年通り案内を提出したい

→承認、12月の郵送に同封

3) オンライン研修会 実施後の問題点・課題

①申し込み後に連絡なく、当日の不参加 1~2 割あり

当日連絡なく不参加が 20 名弱である。→対面時より増加しているわけではない。

→11 月は ZOOM の契約が 100 名のため、お断りもある状況。今後、検討が必要

当日欠席は対面での研修の際も同様の事例がある。受けた人の研修機会を奪う事になったり、資料の無駄にも繋がる為、当日欠席が度重なる方にはペナルティを設ける等も検討してはどうか。

→これについては、広報時に注意書き（「申し込んだ以上は必ず受講してください」）、事前に会費を集める等の意見がある。これについて意見があればお寄せください。

②当日に会員から問い合わせあり（「web の申し込みをしたが、メールが来ない」）

→3 日前までに確認の旨をお伝えしたが、当日わからなかったとの事で連絡がある。ID とパスワードを伝えて入室

（当日事務局で会議をしていたため、対応できたが、通常は休日に対応不可）

・当日、会場参加の予定だったが体調が悪いため web にしてほしいとの連絡あり

→ID とパスワードを伝えて入室

当日の連絡先を出しておき、当日の担当者が対応するようにすればよいのでは？

貴重な講演会ならば、欠席の連絡時に次点の人にまわすなどの対応を考えてもよいのでは？

という意見が出た。

③講演中にコメントの書き込みがされた。

（数字がいくつか突然書き込まれたが、どこから書き込まれたのかわからず、ホストも共同ホストも対応困難。講師の先生から「誰かが書き込みしたので、消してほしい」とのことでしたがすぐに消せず、理事が zoom について調べて途中で消すことができた。講師の先生にはご迷惑をおかけした）

→事務局にて、Zoom の設定より「注釈」をオフにして、現在はコメントの書き込みができないように変更。コメントを書き込めるようにしたい場合、研修会前に設定より変更して、終了後元に戻す必要あり

・上記も考慮して、今後のオンライン研修会を検討していく

4) 2022 年度総会 特別講演講師について (案)

・「環境問題と食事(弁当容器、食品ロス、量り売り)など」

・「コロナ禍での健康変化、食事管理の展望、栄養士ができる役割」

・「栄養ケア・ステーションとは」

・「JDA-DAT の活動、体制」→渡邊理事より、日栄でも静栄でも実施するので別の案でお願いしたい

・「メンタルサポート」

・「SDG s の推進」

・「飢餓や食品ロスについて/NPO 法人 TABLE FOR TWO という団体の活動」

（参照/ <https://jp.tablefor2.org/about/>）

・「介護予防について (LIFE について)」厚生労働省の担当者による講演。

・早めに講師を選定し、日程調整をしていきたい

→研修部会にお任せする。タイトルだけでなく講師がわかれば交渉に入りやすい。

5) 追加資料

- ・2/15 静岡県栄養士会東伊豆賀茂地区 「栄養管理」研修会開催について
篠原先生に依頼し、研修実施予定。タイトルは記載の通りで講師の了承を得た。
- ・1/22 静岡県栄養士会東ブロック
「災害時の栄養士活動～伊豆山での経験を踏まえて～」研修会開催について
昨年の取組の報告と意見交換の予定。

→承認を得た

- ・静岡県「健康づくり提唱のつどい」開催のご提案
・・・2022.6～11に県家で企画し動いていく予定。従来実施していたがコロナで中止となっていた。
→県のコロナの対応の指示に沿った方法で開催をする。キャンセルとなれば、会場費などはヤクルトが負担する。

(3) 広報部(篠原理事)

9月より毎月15日前後にメールマガジンを配信しているが、毎回30名ほどエラーで配信できない会員がある。メールマガジン未着の会員に登録メールアドレスの確認および変更をお願いすると共に、新規登録を促す文書(資料参照)を12月の会員発送に同封したい。

安倍事務局長より補足説明

- ・これまで不定期にメルマガを出していた時、どうなったか問い合わせがあった。9月以降定期的になったので、届かない方は登録を見直してもらいたい。
- ・最近携帯のメールアドレスで登録しており、受信できない方、エラーとなる方もいる。

新井副会長より

- ・研修会時に登録の勧奨をアナウンスしていただきたい。
- ・登録者数を増やせばいろんな配信内容も増加できる。中にははがきの方もいるので、メルマガについてアピールをして頂きたい。

(4) 学術部(戸田理事)

① 講演会および栄養士大会の開催案内について

- ・中野先生の演題名は変更となったので修正する。
- ・会場は定員40名なので先着順。(4階第一会議室)2階の大会議室が午前中しか確保できなかった為、終日同じ会場にする為4階の会場となった。
- ・1/19以降にコロナ感染状況により会場の定員が変更となる予定とあざれあのHPに記載がある。
→サテライト会場として5階第三会議室(定員半分で40名)を確保する。案内には、メインとサテライトである事を記載しておく。ルーターをレンタルし、理事はサテライト会場に移動する。

② 栄養士大会演題内容について

- ・今回12演題募集が集まった。理事会承認後案内をHPにあげていく。
- ・発表者には、今年度同様図書券1000円を参加賞としてお渡しする。
- ・発表者の要旨の締め切りが12/28迄。案内と共に発表者の発表方法の確認を行っていく。

③ 賛助会員の参加方法について(案内)

- ・賛助会員の参加社数（人数について）・・県内の会社限定で2～3社（各社2名まで）

応募多数の場合は抽選を行う

→賛助会員については、参加数の見込みも立てられておらず、参加人数を増やしたことで賛助会員の抽選については制限をもうけなくてもよいのではないかと。

- ・サンプル配布の有無について・・web参加者に配布できないため「無し」にする

希望会員から各社へ問い合わせできる体制がとれればと思う

→賛助会員の宣伝の機会を確保する為、HPの広告バナーから撤退するのを避ける為にも、賛助会員のメリットとなるサンプル配布の機会も与えるべきでは？

→今回は人数制限もあるので、総会の開催時期には従来通りの方法に戻る事を賛助会員に説明する。

- ・Zoomで賛助会員が宣伝する機会、チャット機能利用しサンプル請求はどうか

- ・賛助会員の発表をまとめて行うと時間がかかりすぎる。分散させた方が良い。

→発表方法を確認し、お昼の時間帯に発表を行って頂くなどして、Zoomで参加するなら時間を設ける。講演後長時間発表しなくてよいようにする。

→賛助会員には当日40名であることを連絡してそれでも来てくれる賛助会員様を募集することにする。また賛助会員の紹介をするのだったら最後ではなく研修会の中で入れていってほしい。

要旨の締め切りが12月18日でそれによって会場の振り分け等考えたいと思います。

(5) 福祉事業部(田森理事)

- ・代替えの研修会（寺子屋の中止 調理実習を伴う為）の開催をしてもよろしいか？

1/16（日）10：00～11：30 児童施設の管理栄養士・栄養士集まれ（zoom）

- ・児童の会員が集まる機会がない為、基本webで開催、会場参加も見込む。

- ・会場の場合は田森理事の職場で開催。本来は対面でコミュニティを深める事が良いが、感染対策も可ねweb開催を決定。

- ・10月に日本栄養士会で児童施設の研修があった。その指針を基に話し、ディスカッションの実施予定。

(6) 委託事業

介護予防推進指導者育成研修事業について（若林理事）

来年度介護予防事業がある場合東部中部西部栄養ケア・ステーション担当は2名とし、現担当者が引き継ぐほうが良いが理事が変わっていくので、2名のうち1名は理事もう1名は会員であればよいとする。（個人情報の誓約書をもらう）運営費は委託事業費から運用。

・現時点東部は若林理事と池谷理事、西部は木下副会長と袴田理事の各2名で運用。今回は全て理事である。現担当者、西部は両者とも役員改選で変わり、東部は池谷理事が残る予定。役員改選の後どうすればよいか。

・「介護予防事業」は県の健康推進課からの委託事業。栄養ケア・ステーションは委託事業の中のケア・ステーションであり、鈴木さんが担当している栄養士会の栄養ケア・ステーションとは別である。・介護予防事業に関しては、各支部が独立して活動を行っている。研修会修了者には各支部に登録者名簿を流し、業務の依頼については支部の担当者が直接行っている。

・今後も理事が一人残らないと理事会で報告を上げる事ができないので、各支部の1名が会員、1名ずつ理事が担当する様にしたいと言う事を説明。

- ・運用するうえで理事が1名いた方が良かったのであれば今のやり方を踏襲すればよい。また、地域活動

事業部だけなら理事が1名いたらその理事が報告をすればよいのではないかと。

- ・委託事業なので来年度の事業の方向性がある程度見えてから、また、役員改選が行われたのちに検討した方がよいのではないかと。
- ・委託事業の各事業ともに責任者と担当者が理事会で決定しているので、その責任者が事業の経過報告や検討事項を理事会に上げている。今回は介護予防推進育成事業が栄養ケア・ステーションを活用して通いの場に紹介するという事業の中で、現在西部と東部が各2名の地域活動の理事が栄養ケア・ステーションとして動いているが、来年役員が変わったりしていく中で東部と西部ともに担当者が理事2名の確保は難しいと思われるので、運用するうえで1名は理事が担当してほしいという提案である。また栄養士会の中での西部・東部栄養ケア・ステーションもできているので、今後の事も踏まえて全体で検討すべきである。どのくらいの仕事量・活動量があるか不明である。やるべきことをある程度固めてから、業務の体系や賃金体系について考えるべきである。以上を踏まえ、今回は保留とする。

今後は委託事業1つ1つの担当者からの報告が必要。それぞれ委託事業の担当者から挙げていくこととする。

(7) 新入会員の承認について（木下総務部長）

- ・2021年度新入会員名簿について
- ・新規賛助会員（2022年度から）について承認された。

(8) その他

① 栄養ケア・ステーション東部西部の支部としての意見

来年度の栄養ケア・ステーション支部の担当について支部としては会員になってしまう事もあるので、担当は理事にお願いします。担当理事はコーディネートだけとしたい。事務的なことはすべて、事務局で担当していただくほうが依頼する側が混乱しないとおもわれる。

若林理事より説明。

東部・西部は栄養士会の支部としての活動が殆どない。実際に依頼があった際は、支部から契約、支払等の事務は事務所の鈴木さんが事務局として作業していただかないといけない現状。その為、事務処理についてどこまで支部がするか、事務局がするか明確にしておく必要がある。

まず、東部・西部の仕事内容を整理していただく事から始め、ケア・ステーションの体制づくりをする事が急務である。

今回鈴木さんには、理事会での決定事項を把握していただく為オブザーバーとして参加していただいた。日本栄養士会がケア・ステーションに関するワーキンググループへの参加依頼があった。経験豊富な鈴木さんであれば現場の声を上げる事ができる為、会長推薦でワーキンググループに入っていただいている。ご理解いただきたい。

- ・栄養ケア・ステーション事業報告書は、事業として受け付け実績がある数のみの件数である。電話での相談や問い合わせについては含まれていない。

・支部については11月の会議で検討し、不透明であった予算を確認する為に11月～2月までの1/3の期間（忙しい時期）でかかった手間を数字で出してもらう様若林理事と木下副会長に依頼している。それを基に予算を決定したいので、三役会議に提案をしている。1月の理事会には間に合わない可能性が

あるが、3月の理事会には間に合えば来年度の予算を検討したい。

・木下副会長から→3月の理事会では予算が組めないで、1月の理事会にはある程度分かるようにできるとよい。それなので、11月～という事だったがもっと以前から記載していきたい。

実績として時間ではなく会議では、件数のみという事でお話が合ったのでそれで挙げていきたいと思う。3月頃までにはどうしたらよいかある程度イメージして方向性を決めていきたい。

新井副会長からの依頼

・栄養ケア・ステーションの事業について、支部として受ける業務で表に出てこない業務を含め、支部に理事としておくべきなのか、理事でなくコーディネーターとしておくべきか、方向性を決めておく。

会長より

・栄養士会のケア・ステーション事業については、静岡県栄養ケア・センターのフィルターを必ず通すようにする必要がある。薬局や企業など無料で実施するところもある為、その為の組織をできるだけ早く検討していく必要がある。

②電柱広告値上げの件

2007年より、栄養士会南西森下町パーキングの電柱に広告を出している。

2022年5月支払分より、年額17,000円から21,340円に改定される旨、中電興業より連絡を受けた。

値上げを受け入れ、継続してよろしいか。

会長より説明が行われ、承認された。

③会計上の変更について(事務局)

電子帳簿保存法の改正について

2022年1月より電子帳簿保存法が改正され、取引先などからの電子メールや、ネットからのダウンロードなどで授受した取引情報を、データで保存することになった。

ETCの高速料金やネット通販で購入した物品を栄養士会で支払う場合、請求書、領収書はデータ提出をお願いしたい。

1月の取引分より適用だが、先払いの費用もあるため、12月より実施。10年間保管のため、会計事務所の勧めもあり、(データ量も大きくなる)専用の外付けサーバーを購入したい。

承認された。

インボイス制度(適格請求書等保存方式)(情報のみ)

請求書や納品書の交付や保存に関する制度。2023(R5)10月1日より導入予定。

導入の目的は、取引における消費税額を正確に把握するため。課税事業者と課税事業者と取引がある免税事業者が影響を受ける。課税事業者はインボイス(適格請求書)の発行が義務付けられる。

インボイスを発行するためには、適格請求書発行事業者になるための申請が必要(会計事務所が代行予定)。栄養士会は課税事業者だが、昨年の事業収入が少なかったため、令和5年度は免税の予定だった。課税事業者になると、令和5年度も消費税を納める必要がある。時期がきたら理事会で協議いただく。承認された。

6 連絡事項

(1) 会員への通知発送について

研修会案内など封入する書類は15日(水)必着(厳守)。12月20日に発送予定。

- ・栄養管理普及会の研修案内も封入予定である為、若林理事から担当者に15日までと伝える。
- ・会費納入のお願い（別紙）、払込票
- ・2020年度生涯教育（単位認定等）申請について（別紙）
- ・研修会案内
 - 1/16 病態栄養研修会
 - 2/6 東部「高齢者の食支援」
 - 2/11 栄養士大会 講演会
 - 2/26-27 DAT スタッフスキルアップ
 - 2/5 西部ブロック研修会
- ・味の素リーフレット 2種
- ・1月中旬 次期役員選挙告示の通知
- ・2月中旬 次期役員選挙公示の通知

(2) その他

新入会員勧誘について（木下総務部長（安倍））

12月に栄養関係業務、養成施設担当者あてに入会案内と申込書を送付

- ・ホームページ「会員専用ページ」のユーザー名・パスワードの年度更新についても封入。
- ・会費支払方法は5種類あるので、それぞれの用紙を同封している。自動引き落としの場合別の用紙がある。比較のための手数料一覧を記載するとよい。
- ・お知らせには納入方法が5種類あると記載がないので、できたら自動引き落としを選択していただく事ができる様周知を行う。
- ・入会時期については、日栄でのweb申込では1月から来年度の入会が選べる。静栄には紙で2月から来年度入会となる。
- ・2月の栄養士大会の午前中の研修への参加については、参加後必ず会員となるのであれば会員として研修を受ける事を可能としてもよいのではないか。
- ・事業者別の会費未納者のリストがあるので、声掛けを行う。

7 その他（新井副会長）

・11月末の臨時会長会議の報告。「栄養ケア・ステーションの目指す方向性」の後ろから3枚目に日本栄養士会が連盟と一緒に要望書を上げたという連絡を受けた。

方向性について紹介。P2（1）日本栄養士会として厚生労働省に処遇改善の提案書を提出、（2）日本標準職業分類表には栄養士として賃金表が出されているので、管理栄養士との分類を提言。P3東京栄養サミットにて、日本栄養士会が他国への支援を行っている事の評価を受けた事をうけた。どんどん国に参画していき政策拡大、地位向上を図っている。

次ページには栄養教諭の配置や支援についてあげている。実績がついてくると評価を受け改善される。

日本栄養士会が国に提言をしているので、県栄としては取組を勧めていく。

また提言は一本化していく必要がある。

- ・日本栄養士会が国に政策を提案していくという方向性を打ち出した。
- ・法人がどう選挙に関わっていくかについては、③の立ち位置で関わっていく。

8 確認事項

(1) 行事日程の確認について

役員選挙にかかる予定表については、例年同様である。

各理事には、次年度の方向性の検討も含め動き始めてほしい。人数が満たされない事だけはなるべく避ける。

・地域活動事業部の中の委託事業専任の理事を入れて5名とするか、委託事業は他の事業部も関わるので、他の事業部から出てもよいのではないか。

・しかし実際のところは手上げしてもらった方の中から決めていく。

・選挙の公報届の個人提出書類について確認。公報届は定款で決められていない。去年は年齢で提出しているが、今回生年月日は記載していただき、事務局で年齢に修正し、告示の時に隠すようにする。

・日本栄養士会代議員は7人+補欠。

今期は坪井会長、木下副会長+医療2名+福祉+地域活動2名+連盟支部長。

代議員のもう1名は会長に委ねる。

選挙告示はホームページにも書類一式掲載。

(2) その他

本日のZOOM (WEB 会議) システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以上

出席理事	
	坪井 厚
	木下 初代
	新井 英一
	戸田 知里
	天野 利紗
	宇津木 志のぶ (WEB)
	名波 浩美 (WEB)
	篠原 啓子
	三浦 綾子 (WEB)
	森下 知代 (WEB)
	若林 恭子
	池谷 広美
	森平 教子
	袴田 裕子 (WEB)
	久保田 美保子 (WEB)
	渡邊 美子 (WEB)
	鈴木 恭子 (WEB)
	渡邊 潤 (WEB)
	田森 稔浩
	寺田 直哉 (WEB)


出席監事 杉山 智子 (WEB)
 関 明子 (WEB)

議事録作成者 若林 恭子
議事録作成者 森平 教子

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2021年12月12日
公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井厚 

副会長 新井英一 

副会長 木下初代 

監事 関明子 